

## 令和元年5月部長会議 会議録（要旨）

- ◇日 時 平成31年4月26日（金） 午前8時35分から午前10時5分
- ◇場 所 市役所第一庁舎5階 庁議室
- ◇出席者 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、総務部長、企画政策部長、財政部長、地域・市民生活部長、保健福祉部長、保健所長、こども未来部長、環境部長、商工観光部長、文化スポーツ振興部長、農林部長、建設部長、都市整備部長、会計局長、教育次長（行政及び教育）、上下水道局長、消防局長、議会事務局長、危機管理防災監、公有財産活用局長、市長公室長及び関係課職員

### ◇会議内容

#### <市長あいさつ>

- ・平成最後の部長会議となる。明日からゴールデンウィークに入るが、各部局で危機管理を徹底し、部局長以下職員は緊急時にはすぐに対応できる態勢を整えておいてもらいたい。
- ・資源再生センターの火災事故に関して、不燃ごみ等の受入れを民間事業者に委託できることとなり、4月15日から収集が再開された。市民生活への影響を最低限に抑えられたが、民間委託による処理費用が1か月あたり数千万円かかるようになるので、資源再生センターでの処理の早期の本格再開に向けスピード感をもって取り組んでもらいたい。他の部局でも、所管事業でどのような危険があるか、また、もし事故があったときはどのように対応するのかを再確認し、万が一事故があった場合は、人命最優先で対応できるよう平時からの備えを怠らないようお願いする。
- ・保育所等の入所保留通知書をお送りした人について、4月1日の状況を調査したところ、市内で11人の待機児童が確認された。保育利用者の増加を見込み、保育士を前年同期比で16人増員したが、3歳未満児の保育希望が大幅に増加したため、需要に対応できなかったことは残念である。引き続き、保育士確保を重要課題として待機児童対策に取り組みたい。他の事業においても、データに基づいた行政ニーズの変化を把握し、あらかじめの備えをもつて的確な対応をお願いしたい。
- ・昨日から、部局長に対し、今年度の部局の目標についてヒアリングを実施している。目標管理をしっかりと行いながら事務事業を遂行してもらいたい。
- ・今年度新規に採用された職員も1か月たち、仕事に慣れてきたところだと思うが、部局長始め管理職には特に新規採用職員のケアをお願いしたい。
- ・連休中は様々なイベントが開催されるが、職員はイベントに積極的に参加し、盛り上げてもらいたい。

## 1 協議事項

### (1) 長野市役所における「エコ通勤優良事業所」の認証取得について

（総務部・都市整備部）

標記事項について、総務部長から説明し、協議を行った。（資料1参照）

#### ○質疑

- 〔都市整備部長〕エコ通勤については、公共交通機関の利用促進による維持・確保という狙いもあるため、協力をお願いしたい。
- 〔農林部長〕四輪車通勤の職員の50パーセントを公共交通機関等の通勤に切り替えるとあるが、人数にすると何人程度になるか。
- 〔職員課長〕正規職員と非常勤職員を合わせて186人程度になる。
- 〔総務部長〕エコ通勤に率先して取り組んでいくため、目標を高めに設定している。
- 〔市長〕公共交通機関等の通勤に切り替える職員を部局ごとに割り当てないと、目標の達成は難しいのではないかと。
- 〔職員課長〕部局への割り当てはしていないが、認証後はエコ通勤の趣旨を周知するとともに、公共交通機関等の

通勤への切り替え状況を把握していく中で検討したい。

〔副市長〕 目標を達成できなかった場合、認証が取り消されることはあるか。

〔総務部長〕 2年間の計画であるが、目標を達成できなくても取り消されることはない。

〔市長〕 取り消されないとしても、目標値とかい離してしまっはよくない。

〔副市長〕 達成可能な目標としたほうがよいのではないか。

〔職員課長〕 エコ通勤普及に対する市の姿勢を示したいので、高い目標をもって取り組みたい。

〔企画政策部長〕 働き方改革としてテレワークやサテライトオフィス等の取組もあるが、これについてはどうか。

〔職員課長〕 テレワークやフレックスタイム制については、あまり浸透していないため、職員の自己申告の際の希望調査でも希望者は少ないが、エコ通勤への転換の手法としてテレワーク等も検討したい。

#### ○今後の方向性

原案を了承。

### (2) 信州被災者生活再建支援制度（仮称）による被災者への支援について

（総務部・保健福祉部）

標記事項について、危機管理防災監から説明し、協議を行った。（資料2参照）

#### ○質疑

〔財政部長〕 4年前から検討されていたようだが、県と市町村との間で話が全て決まる前の検討段階で一度協議をしてもらいたかった。適用範囲や県と市町村との負担割合など県ともっと協議する余地があったように感じる。この支援制度は県が行うものとしてアピールされることとなると思うが、実際は、経費の半分や実務が市町村に押し付けられてしまっている。いずれにしても、今後このような案件は、早いタイミングで協議をお願いしたい。

#### ○今後の方向性

原案を了承。

### (3) 第5回長野市国民保護計画の変更及び市議会への第1回～第4回変更報告の遅延について（総務部）

標記事項について、危機管理防災監から説明し、協議を行った。（資料3参照）

#### ○質疑

〔保健所長〕 国民保護計画の変更事項は市の各組織に伝達されていたか。また、国民保護計画に基づく訓練の実施状況と今後の予定を聞きたい。

〔危機管理防災課長〕 平成20年度に内閣府が主催した全国的な訓練を実施したが、その後は国民保護計画に基づく訓練は実施していない。今回の国民保護計画の変更は国の指針や県の国民保護計画の変更等に基づくものだが、決定後庁内にも周知していきたい。

〔保健所長〕 地域防災計画と並んで国民保護計画は全庁的な対応が必要となるので、軽微な変更であっても庁内の周知をしっかりとしてほしい。訓練についても、大規模な訓練は頻繁にできないかもしれないが、机上訓練など現実的な方法での実施を検討してもらいたい。

#### ○今後の方向性

原案を了承。

### (4) 長野市資源再生センター火災に係る対応経過と今後の予定について（環境部）

標記事項について、環境部長から説明し、協議を行った。（資料4参照）

#### ○質疑

〔財政部長〕 不燃ごみの処理を民間委託すると1月あたり3,650万円かかるとのことだが、民間委託する期間の支

出を少しでも抑えるため、市民にその期間の排出抑制に御協力いただくようなPRをしたほうがよい。不燃ごみの収集が再開されたことで資源再生センターが本格復旧したと誤解している市民もいると思うので、その辺のPRをどうしていくのか聞きたい。

〔環境部長〕不燃ごみの分別の徹底については、火災原因は判明していないが、可燃性のものを混入しないよう市民に周知を図っている。

〔財政部長〕民間委託する期間は不燃物の排出を抑制するよう市民に依頼できないか。

〔生活環境課長〕地区の環境美化組織を通じてごみの排出抑制をお願いしているので、引き続き依頼していきたい。

〔副市長〕今は非常時であるので、資源再生センターの本格再開まで排出抑制をお願いしていくことは必要と考える。

〔環境部長〕家庭で取り置きしていただけるよう呼びかけていきたい。

〔市長〕状況が厳しいことを市民にも御理解いただけるよう努力をしなければならない。

〔財政部長〕補正予算の約4億円の歳出のうち3億円以上は一般財源を充てるようになるが、リサイクル基金に5億円ほどあるので、基金を活用したほうがよいと考える。

〔副市長〕ライター、乾電池、携帯ガスボンベなどが火災の原因と目されているが、これらが混入しないようごみの出し方を再度徹底してほしい。ごみの出し方の不徹底が今回のような不慮の支出につながってしまうことも含めて市民に周知することも必要と考える。

### ○今後の方向性

原案を了承。

## 3 その他

### (1) 職員のストレスチェックについて（総務部）

標記事項について、総務部長から説明を行った。（資料5参照）

#### ○質疑

〔保健所長〕高ストレス者のうち健康管理医の面談の受けた者が少ない理由はなにか。

〔医務保健室長〕医務保健室の保健師がまず詳細な面談をして、受診勧奨する者としばらく経過を観察する者に分けている。その上で健康管理医の面談を勧めた職員は3人という結果になった。

〔保健所長〕職員のストレスチェックは、高ストレス者を医師の面談に結び付ける流れをつくるのが趣旨であると思うので、そのような流れをつくってほしい。また、健康管理医から高ストレス者の所属へ配慮を求めるなどのフィードバックがされた事例はあるか。

〔医務保健室長〕面談記録を所属長に送付し、健康管理医の意見等が伝わるようにしている。

〔保健所長〕高ストレス者の多寡が所属により片寄りが大きいことに所属に気づいてもらうことも重要であると考ええるが、所属ごとのばらつきは分析しているか。職員安全衛生委員会に分析結果を示して議論を深めてもらうことも検討してはどうか。

〔職員課長〕職員安全衛生委員会でストレスチェックの詳細な結果はこれまで示していないが、今後対応を検討したい。

### (2) 長野市プレミアム付き商品券事業について（商工観光部）

標記事項について、商工観光部長から説明を行った。（資料6参照）

#### ○質疑

〔財政部長〕プレミアム付き商品券の販売窓口を支所に設けてはどうか。

〔商工観光部主幹〕支所では本人確認や現金取扱に課題があるほか、支所業務に支障が生じるおそれもあるので、販売窓口を設けることは予定していない。

〔副市長〕金券であるので、事故が起きないように体制で実施すること。

### (3) 篠ノ井中央公園サウンディング型市場調査の結果について（都市整備部）

標記事項について、都市整備部長から説明を行った。（資料7参照）

#### ○質疑

〔財政部長〕便益施設の設置までのスケジュールはどのようになるか。

〔公園緑地課長〕これからいただいた意見の検討を行っていくので、公募の時期は具体的には決めていない。

〔財政部長〕いつごろまでには便益施設を設置したいというような考えはあるか。

〔公園緑地課長〕スケジュール的なものはこれから検討する。

### (4) 「長野市の学校における働き方改革推進のための基本方針」の策定について （教育委員会）

標記事項について、教育次長から説明を行った。（資料8参照）

#### ○質疑なし

以上